

種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ: (種子島の有名な生き物)

写真やイラスト及びその説明 / 場所 (地図上に書き込み, 説明を書く)

※ 注意...単なる引き写しではなく、オリジナリティーを追究し、面白い内容を目指すこと。

✿ 種子島の有名な植物



ヘゴ^ゴ
 熱帯、亜熱帯に分布しており
 低温で湿度の高い場所が
 ヘゴに適した生息地。

種子島の西之表市国上地区大田では、
 高さ8mに達するものも。4m前後の個体が
 谷筋に沿って、すざ林の中で連続して分布し、
 群落を形成して、国内最大級!!と知られている。
 西之表市では2010年に「ヘゴ自生群落」として市の天然記念物にも

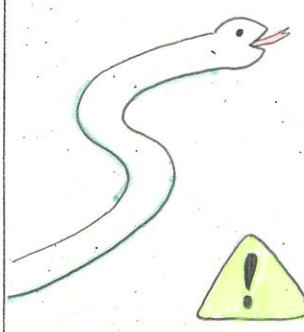
ツネガシマアザミ
 “種子島特産の頭花が直立する
 アザミ”



茎葉は広卵形～狭卵形、長さ11～30cm
 羽状に中裂し、羽片は2～3対、
 鋭い刺がある。花期は10～12月、両全性

- ② 分布は種子島に限られる。
- ② 個体数が少ない絶滅危惧種である。

< 種子島にもいる危険生物! >



- ニホンマムシ ← 昔、食用として
- ヤマカガシ (カラスハビ) (猛毒) 食べたこと...
- シマハビ
- アオダイショウ (無毒) ← 全長1~2mと大きな蛇。
- エラブウニハビ (猛毒)

- ワマバチ ← 実は温厚で攻撃性のないバチ。
- スズメバチ
- アシナガバチ ← 集団攻撃する危険なバチ
- ミツバチ ← 危険...!!



温かい
 海域にすむ。



- クロミナシ (イモガイ科)
- アンボイナ
- タガヤサンミナシ
- マカキガイ

△ イモガイは全身が麻痺する
 くらいの猛毒をもつ。



※ 参考文献/出典 (著者名, 書名, 出版社名, 出版年), HP (サイト名, URL)

(例) ・井元正流『種子島』(春苑堂出版, 平成11(1999)年)

- ・西之表市役所HP (<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html>)
- ・ふるさと種子島 (<http://www.furusato-tanegashima.net>)
- ・kagoshima-kankou.com (<http://www.kagoshima-kankou.com>)
- ・種子島高等学校 (<http://taneko.edu.pref.kagoshima.jp>)
- ・国立科学博物館 (<http://www.kahaku.go.jp>)

評価
 A: オリジナルな見解が盛り込まれている。 B: 一通り書けている。 C: 不十分な分量・内容。